特別
へ13
4271
20

特別
へ13
4271
19

八犬傳

十一編上

嘉永四辛亥新春

特別
へ13
4271
19

へ13
4291
19

一の章

名美

八犬傳

拾壹篇

爲永春水作

一勇齋國芳畫

文淺堂梓

91-2262

原傳ハ出ることろの。戸田川の繡像を見るハカ二尺八ゲ裝束ハ甲冑めくあるべをを。倡ハ素肌に重一ハ画工のこころハ知らねども。腹巻をこで武者めくくハ大塚よりの追隊の勢と。打交りその戦ひ乱ハ。何方ゲ何方ゆら分解らね故ハ。故意と画組を本文と遠へて書一のゐ〜ん。予も其心あつ紙りて。原傳のまく画せられごの。這回ゆそ二個ゲ素肌でハ。後荒芽山の條下ハらろ。紀念の腹巻臂單臑當の。都合ゲあねと看官の。目角をやつけゐうんと。先達さ人ハ捐ろ且一ハ。夏ありゲれハ言ひ出るも。又これ自己ゲ用心のこ見ゆの夏の誤りハこの末こそも多ろうん。惣ハカ二尺八ゲ画組の例ハ推當て見るゐくと願ふゐん

辛亥の歳春新鐫

爲永春水誌

侍女
音音
神宮川の
漁夫
猟平

若黨
姥雪
世四郎
荒芽山の
老女

十編よりつゞき

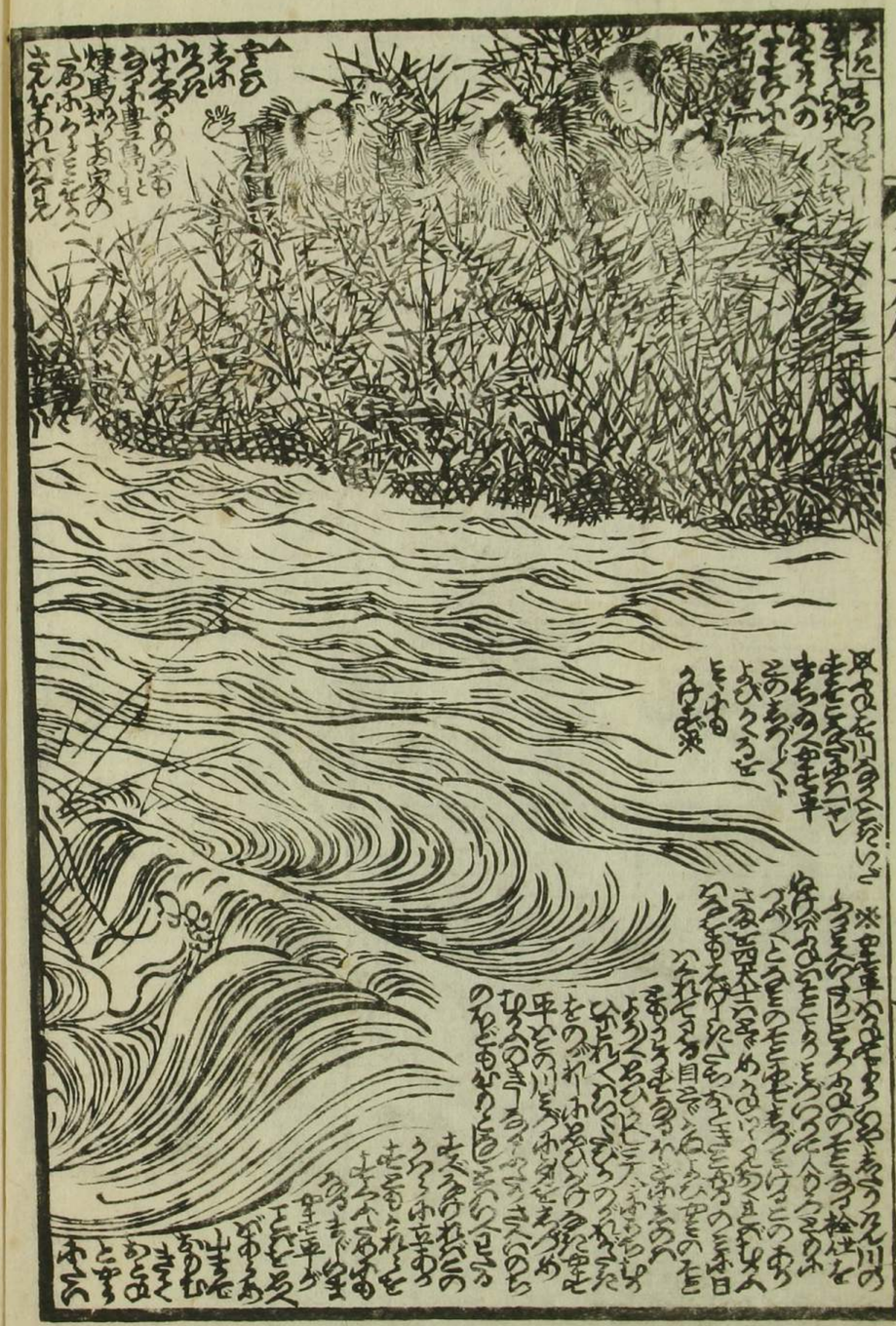
額

青面金剛

現
社

信
五

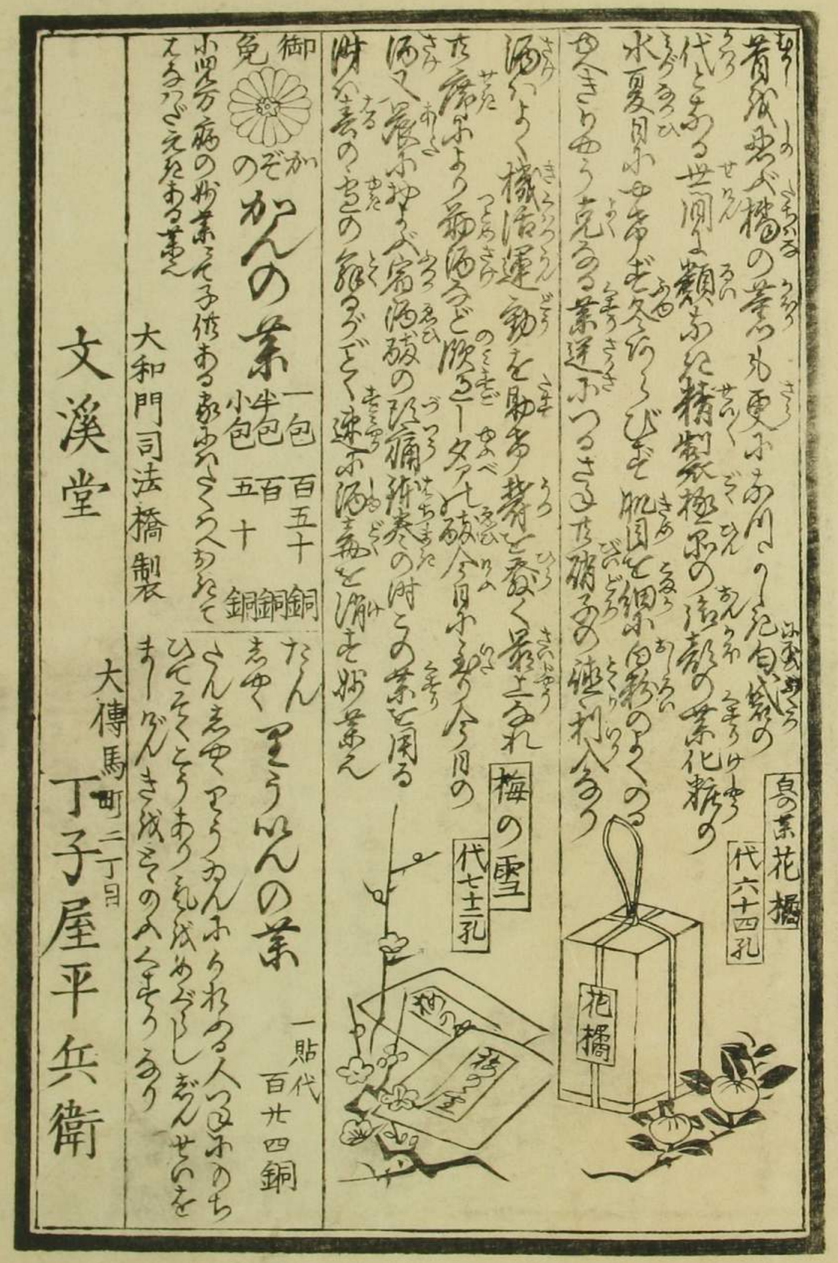
町の人



雷電神社
額
現

信
小

國芳画 春水作
御泊り宿
桶川駅
大吉屋


梅の雪
代七十二孔
花摺
代六十四孔
御免
かんの茶
一包 百五十 銅
半包 百 銅
小包 五十 銅
たんもうさうかんの茶
一貼代 百廿四銅
文溪堂
大和門司法橋製
大傳馬町二丁目
丁子屋平兵衛

特別
へ13
4271
20

A13
4271
20

八方美人傳

十返舎一九作

為永
春水
一勇斎
國芳畫

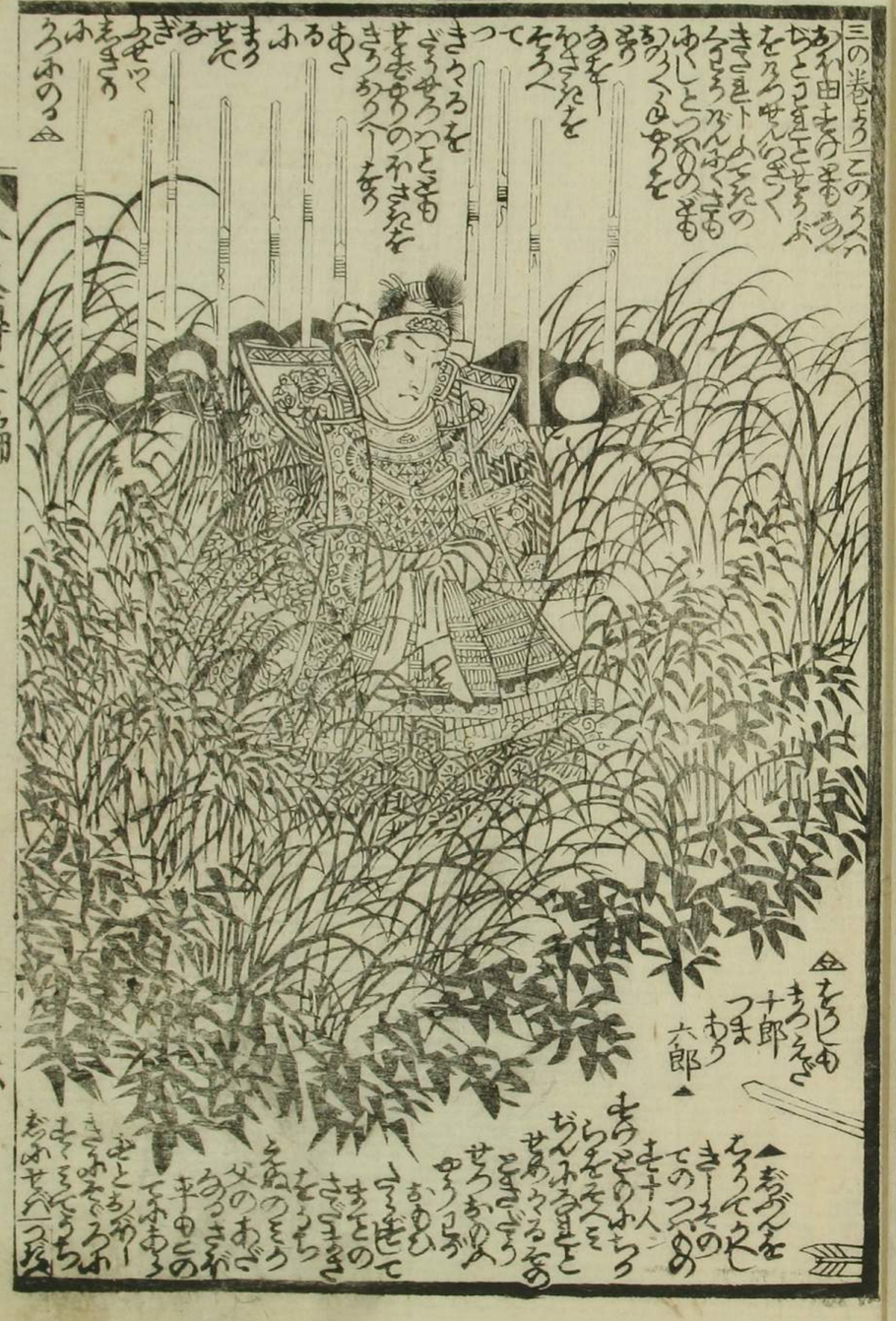
文房堂版

91-2263

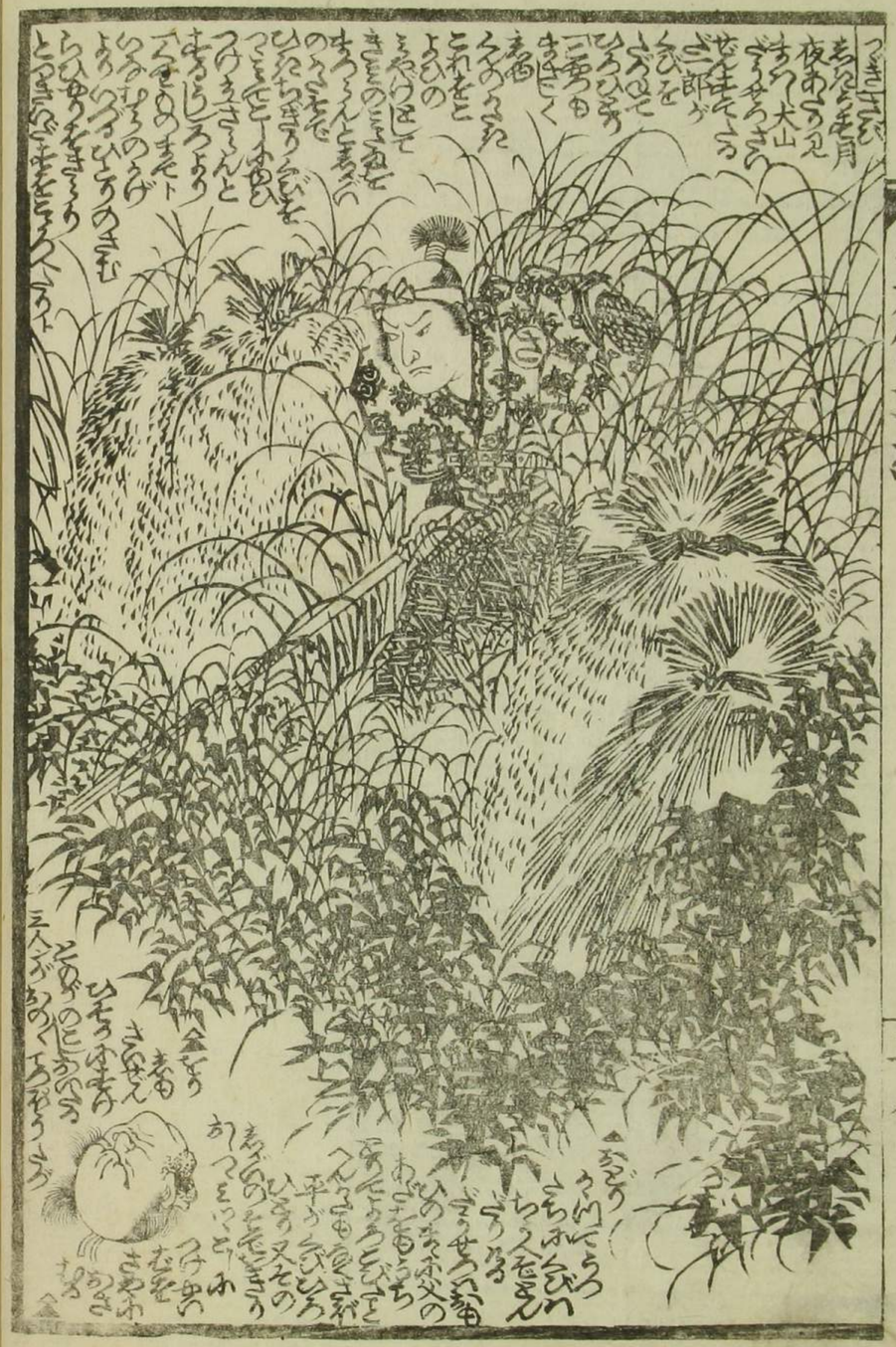
現
壯

小
信

四のまき



三の巻より　このうへ
あれ田よりまもる
ちとう五とせうぶ
をろせんぐろく
きさ五トんてんの
ゑうろぐんぐさも
ゆしとつかのぎも
ろうくるゆうをを
ろをーわさをを
をろへ
つて
きろるを
ぐろせろつとも
せをぎをりのわさを
きろろろへーをろ
あさ
るふ
まろ
せん
るぎ
ふせつ
まろ
ふろふのろ



嘉永四辛亥春新刻

為永春水作
一勇齋國芳画
假名讀八犬傳
十一編十二編
十三編 出来板

曲亭馬琴作
近世説美少年錄 十五冊
渓齋英泉画

曲亭馬琴作
松浦佐用姫石魂録
渓齋英泉画
十五冊

丁子屋平兵衛板

佛説第十八願
本願
文溪堂梓